

愛知県環境審議会総合政策部会 会議録

1 日時 平成26年4月30日（水）

午前10時30分から正午まで

2 場所 愛知県自治センター4階 大会議室

3 議事

(1) 環境基本計画の改定について

(2) その他

4 出席者

委員9名、専門委員2名、説明のために出席した職員21名

5 傍聴人 0名

6 会議内容

議事録の署名について、青木部会長が稲垣委員と小嶋委員を指名した。

(1) 環境基本計画の改定について

- ・ 資料1（環境審議会総合政策部会の審議状況）、資料2（「第4次愛知県環境基本計画 中間とりまとめ」に対する県民意見の募集結果）、資料3（環境基本計画の改定について 部会報告（案））、資料4（中間とりまとめからの主な修正事項）、資料5（第4次愛知県環境基本計画の推進に関する事業体系）について、事務局から説明があった。

<主な質疑応答>

【井村委員】

低炭素型製品について、資料3の62ページの用語解説では非常に先端的、ハイテクな物をイメージするような説明になっているが、最先端でなくても低炭素型製品である物はあるので、幅広く捉えられるような記述にした方がよい。

【事務局】

低炭素型製品の内容について調べ直して相談の上修正したい。

【河野専門委員】

資料2の3ページの右側の最後から2行目に「事業活動に伴う温室効果ガス排出量や排出原単位の低減」とあるが、我々産業界がまずやるのは原単位の低減である。企業活動が下がればCO₂は下がるが愛知県はそれを求めていると思う。原単位を下げれば同じ活動量でも排出量は減っていく。原単位を先に記載するよう順番を入れ替えて欲しい。

具体的には「事業活動に伴う温室効果ガス排出原単位や排出量の低減」としていただきたい。

2つめは、資料3の53ページの「人づくりの推進」のところで、文章内の「環境への負荷を減らす身近な環境配慮行動『あいちエコアクション』を様々な場面での実践を促す県民運動の展開」とあるが、「環境への負荷を減らす身近な環境配慮行動『あいちエコアクション』の様々な場面での実践を促す県民運動の展開」と、「を」を「の」に変更した方が文章の流れが良くなる。

【事務局】

ご意見のとおり修正させていただく。

【大東委員】

国が3月に水循環基本法を策定し水循環全体の考え方を示したので、それを受けた形での記述にさせていただきたい。

【事務局】

資料3の49ページの健全な水循環の説明の中に、国の動きも入れていく形で検討する。

【森田委員】

資料3の53ページのマトリックスを補う資料として、今回の会議のために作成した資料5を付け加えてはどうか。

2点目は、NPOという言葉の扱いであるが、資料4の説明であるとNPOという言葉一つで多くの言葉を括っているとのことだが、NPO一つで括られると違和感のある団体もあると思う。NPO等とすれば含みがでてくるのももう少し整理できないか。

【事務局】

資料5の各事業は、毎年PDCAのサイクルの中で修正や強化しながら取り組んでいくものである。今回の資料は、今の事業を載せさせていただいたもので

固定できるものでないため、53ページのマトリックスにより方向性を示す形でご理解願いたい。

県でNPO法人を所管している部署もボランティア団体やNPO法人でないところも含めて広くNPOを捉えている。一番前のところで説明書きを加えて、この環境基本計画上で考えるNPOを定義させてもらっている。

【森田委員】

今の説明ですと、53ページの「NPOやボランティア団体など」という言葉が矛盾する。

【事務局】

53ページのボランティア団体を削除する。

【松本委員】

NGO側からすると、ちょっとしたプライドの問題がある。問題なければ両方記載しておいてもいいのではないかと思う。また、括りとしてNPOとボランティア団体はやはり別であるのではないかと思う。

また、用語集の何ページという記載を本文中に入れてはどうか。

【事務局】

ご指摘を踏まえて、NPOを所管している部局にも確認した上で修正する。

また、本文中と用語集の関係については、わかりやすくするよう工夫する。

【小嶋委員】

資料5について、横線である点線を左右比べた際に、線がずれている部分がある。必ずしも一致していなければならないわけではないと思うが、分け方を工夫し、上手く整合をとれないか。

また、資料5の中で「始め」という言葉がわかりにくいので表現を変更してはどうか。

【事務局】

横線となっている点線を消すことでわかりやすくなると思うので、そのような対応をしたい。

また、「始め」については、削除する形で整理させていただく。

【浜口委員】

資料2の3ページの3番の意見にある脱原発の必要性に対する回答があるといいと思う。例えば、国の方針に従って本県も取り組んでいくという回答の形ではどうか。

資料4の中でコージェネレーションを入れることで整理されているが、せっか

く入れるなら用語集にも加えたらどうか。

【事務局】

原子力発電の必要性については、国においていろいろな議論があり、また、社会情勢や国際情勢によって変わる可能性もあるので、本県の環境基本計画の中でコメントするのは控えたい。

コージェネレーションについては、用語集に入れることで整理したい。

【井村委員】

26ページの図において、右上に「全国・世界へ魅力発信」とあるが、魅力あるということだけを宣伝するのはどうか。「魅力」という言葉を使わずに、単に取組を世界に知ってもらおうということで十分でないか。

【稲垣委員】

資料2の31から33までの意見に対しては、個々の対策等で参考にさせていただく形にすべきである。

10ページにある「国内の原子力発電所の多くは稼働を停止しており」とあるが、すべてが停止しているのではないかと思うので確認して欲しい。

53ページのマトリックスと資料5を比較すると、ESDの取組の入っている位置が異なっているので、整理したほうがよい。

また、資料5の中にある「生態系ネットワークの形成を意識した自然環境の保全」において、大きな枠として「自然環境保全事業」が位置づけられているが、53ページのマトリックスでは、「地域の生態系ネットワーク協議会の設置及び取組」と具体的な事業が掲載されているので、記載方法を整理し修正していただければと思う。

【事務局】

魅力ある地域になれるよう目標として掲げさせていただいているものであり、ご理解願いたい。

稲垣委員から指摘いただいた記載方法等については、整理した上で修正したい。

【吉久委員】

本文中の図や表における色の使い方、トーンを統一されたい。

【事務局】

デザイナーにわかりやすくしてもらいながら仕上げていきたい。

【森田委員】

県民意見や意見に対する回答は、ホームページに掲載されるのか。

【事務局】

愛知県環境基本計画を策定した段階で県のホームページで公表する。

【青木部会長】

今回の会議での意見に基づく修正ですが、その表現については私に一任いただきたいと思うが、委員の皆様いかがか。

【各委員】

異議なし

議事2 その他

- ・資料6（平成26年度愛知県環境部主要予算概要）について事務局から説明。

以 上